



## 木下 佐和子 (きのした さわこ)

地質情報研究部門 地球物理研究グループ

本年3月1日から地質情報研究部門の地球物理研究グループに任期付き研究員として配属されました木下佐和子と申します。

学部から博士課程まで東京大学に在籍し、2016年3月に学位を取得後、産総研特別研究員として2年間地球物理研究グループにお世話になっておりました。

大学院時代は、スマトラやアラスカなどの遠地で発生した規模の大きい自然地震の波形を使用して富士山などの活火山で深さ100km程度までを対象に地震波速度構造を求め、マグマがどのように上昇しているのかを解明することを目的に研究を行ってきました。産総研に入所後は、人工震源を用いた陸上の浅部反射法地震探査により、地下約1kmまでの深さを対象に、断層位置や構造を解明する研究に取り組んでいます。産総研には、様々な分野のスペシャリストがたくさんいらっしゃいますので、色々

な方と共同研究をしたいと思っています。また、新しい研究テーマにも積極的に挑戦していきたいです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



## 富樫 聡 (とみがし あきら)

福島再生可能エネルギー研究所 (FREA)  
再生可能エネルギー研究センター 地中熱チーム

本年度4月から主任研究員として再生可能エネルギー研究センター・地中熱チームに配属されました、富樫 聡です。民間企業に所属していた2014年3月に信州大学で学位を取得しました。専門は地下水工学・水文学・地中熱利用です。

前職は建設コンサルタント会社でエンジニアをしていました。官公庁や民間企業が抱える水やエネルギーの問題を解決するための企画提案、技術開発、開発技術の社会実装などが私の職務でした。また、サラリーマンですので、営業、商談、事業化、経営企画なども含めて、色々経験しています。これらの経験を活かしたユニークな研究者になりたいと考えていますが、目下のところ理想とする研究者像を描けておらず、もう少し時間がかかりそうです。今後は、研究を通じて、水やエネルギー問題の解決と産業振興を実現したいと思っています。そのためのひとつの手段として、地中熱には大きな可能性を

感じています。

地下水環境がシステム効率に与える影響の定量化、地中熱の更なる普及や新たなビジネスの創出につながる技術開発などに興味があり、FREAという素晴らしい研究環境の中で、目標達成に向けて楽しみながら前進したいと思いますので、これからどうぞ宜しくお願いいたします。





**鈴木 陽大** (すずき ようた)

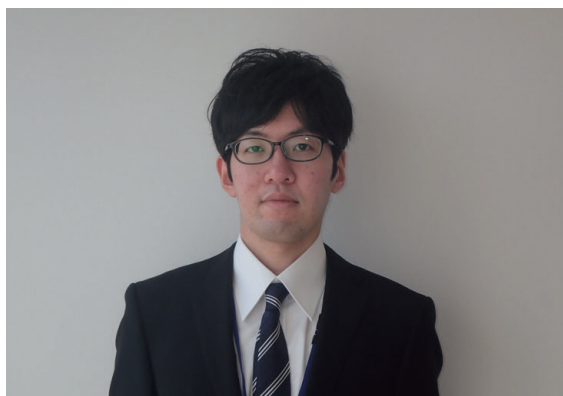
福島再生可能エネルギー研究所 (FREA)  
再生可能エネルギー研究センター 地熱チーム

2018年4月より、博士型任期付研究員として再生可能エネルギー研究センター・地熱チームに配属されました。鈴木陽大と申します。弘前大学工学部地球環境学科で学士を取得した後、同大学院に進学、2018年3月に学位を取得しました。

私は宮城県出身で、東日本大震災の発生をきっかけに地熱エネルギー利用に関心を持ち、大学院生時代は地熱開発促進に貢献することを主な目的として研究を行ってきました。地熱開発を進めるためには、地熱資源の温度や位置といった情報を正確かつ迅速に把握することが必要です。しかし、地熱資源は透視することのできない地下に存在しているため、地表面からそれらを把握することは難しく、地熱開発促進を阻む障壁となっています。私はその障壁を越えるために、地表面から簡便に地下温度構造を推定する手法の精度検証や、迅速に地熱資源位置を推定する新しい地熱資源探査手法の提唱などを

行ってきました。

産総研ではこれまでの研究を発展させて、超臨界地熱資源などを包括した新しい地熱資源ポテンシャル評価や、地熱開発を促進させる新しい地熱資源探査手法の開発などに取り組み、地熱開発促進・東北復興へ貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。



## 2018 GSJ イベントカレンダー

8月21日

地質標本館 2018年度 特別展  
「地球の時間、ヒトの時間 —アト秒から46億年まで35桁の物語—」

11月18日

地質標本館 (茨城県つくば市)  
[https://www.gsj.jp/Muse/exhibition/archives/2018/2018\\_summer.html](https://www.gsj.jp/Muse/exhibition/archives/2018/2018_summer.html)

8月24日

地質標本館 夏休み化石クリーニング体験教室 2018 ※受付は終了しました

8月25日

地質標本館 地球なんでも相談

地質標本館 (茨城県つくば市)  
<https://www.gsj.jp/Muse/event/>

9月7日

地質情報展 2018 北海道「明治からつなぐ地質の知恵」

9月9日

かでの2・7 北海道立道民活動センター (北海道札幌市)  
<https://www.gsj.jp/event/johoten/>

ミュージアムキャラクター  
アワード 2018  
投票締切: 2018年9月6日(木)11:00

全国のミュージアムのキャラクターの日本一を決める投票です。  
地質標本館から「杏桃ちゃん・騎士くん」がエントリーしています。  
<https://www.museum.or.jp/museum-chara/>



騎士くん

杏桃ちゃん

# 明治からつなぐ 地質の知恵

地質情報展  
2018  
北海道

2018年

9月7日(金), 8日(土), 9日(日)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 一般社団法人  
主催：地質調査総合センター・日本地質学会

**時間** 10:00～17:00 ※9日は16:00終了

**会場** かでの2・7  
(北海道立道民活動センター)

**体験コーナー** 化石のレプリカ作成,  
石狩平野の作り方など

**特別展示** 巨大地質図で見る北海道

入場  
無料

**同時開催** [日本地質学会 主催]

**市民講演会**  
「動く大地のしくみを知り、地震・津波災害に備える」

日時：9月8日(土) 13:00～15:00  
場所：かでの2・7(北海道立道民活動センター)

- 山脈はどうしてできる？—地質が示すヒマラヤ・日高山脈の成り立ち—  
在田一貝 (北海道大学大学院理学研究院元教授, NPO法人北海道総合地質学研究センターシニア研究員)
- 深海底の断層を調べる—東北地方太平洋沖地震の断層すべりメカニズム—  
亀田 純 (北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学部門准教授)
- 地震はなぜ起こる？—北海道の地震とその災害—  
高橋浩晃 (北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター教授)

**小さな Earth Scientist のつどい**  
～第16回小, 中, 高校生徒「地学研究」発表会～

日時：9月7日(金) 10:00～17:00  
場所：札幌大会ポスター会場 (北海道大学 高等教育推進機構棟)

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター  
TEL : 029-861-3540  
Email : johoten2018-ML@aist.go.jp  
URL : <https://www.gsj.jp/event/johoten/>



共催：北海道立総合研究機構 地質研究所  
後援：経済産業省北海道経済産業局, 北海道大学, 北海道教育委員会, 札幌市, 札幌市教育委員会, NHK札幌放送局, STV札幌テレビ放送, HTB, HBC北海道放送, テレビ北海道, UHB, STVラジオ, 北海道新聞社, 全国地質調査業協会連合会, 北海道地質調査業協会, 日本ジオパークネットワーク





### 楽しく学ぶ！ 体験コーナー

化石のレプリカ作り



各日10時より整理券を配布します。  
各日先着 **100** 枚

この3種類の化石のレプリカを作ります！



新生代  
巻貝(ヒカリヤ)



中生代  
アンモナイト



古生代  
三葉虫

深海底の  
マンガン団塊ひろい



ペットボトルで  
液状化実験



火山噴火実験



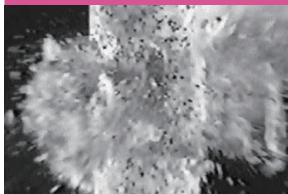
水路堆積実験



重力調査実験



岩石破壊実験



地盤の揺れ実験



見て、さわって、作る  
ことができるコーナーです。

お子様と  
いっしょに  
楽しんで  
下さい！



### 見て・聞いて・学ぶ！ 展示と解説のコーナー

#### 北海道の地質紹介

- ・巨大地質図でみる北海道
- ・石狩平野のなりたち
- ・北海道の活断層
- ・北海道の鉱物資源
- ・札幌のクジラ化石（レプリカ） ほか

#### 私たちと地質

- ・活断層・ジオラマ模型
- ・地質ぬり絵
- ・地熱発電と地中熱利用

#### 地質学会コーナー

- ・第9回惑星地球フォトコンテスト  
入選作品展示

#### ジオパーク紹介コーナー

- ・道内のジオパーク紹介

**会場アクセス** JR札幌駅南口徒歩13分、地下鉄さっぽろ駅10番出口徒歩9分。  
北一条地下駐車場連絡通路1番出口徒歩4分。

